

# 童

2019年4月26日

大地のスロープには、彩りの美しい鯉のぼり達が、残雪の志賀高原の山並みを背景に気持ちよく泳ぐ季節となっています。鯉のぼりは見るものではなく、一緒に遊ぶ仲間と言うのが大地のスタンス。昨年の森林整備により、今年は、豪快に高くたくさんの鯉が泳げるようになりました。

そんな中で迎えた新学期。保育幼稚園業界では、この4月、新学期は恐怖のヘトヘトに大人も子供も疲労する時期。子供は両親と別れ、知らない環境に身を置く。親も子供と別れる。親が就労していれば、気分も子供から離れ仕事に気持ちを持って行けるが、主婦だと子供のことをどうしても考える。保育士さん達は、言うことを聞かない、不安で泣き叫ぶ子供たちを、大声で叫び、注意して、何とか園の仕組み、流れに合わせようとする。今はどうか知らないが、青ちゃんが保育園で働き始めた頃、4月は子供が勝手に外へ出ないように部屋のカギをかけて、保育士さん達は皆声をからしていた。

しかし、大地ではそんな事はありません。まず、勝手に外へ出ようがない。毎日魅力的な外だから。心配事より楽しみ事が多ければ多いほど、心配事はなくなる、これ大人も同じ。子供の仕事はひたすら遊ぶ事。覚えること、学ぶことではない。大人も教える、覚えさせるのではなく、大人も楽しく遊んで過ごす。苦虫を噛みつぶして注意する姿勢の大人はいはらないのです。

子供の幸せが最優先ではなく、子供も大人も夫婦もスタッフも自然環境も、皆同等に幸せでなければならぬのです。サービス業も福祉業界なども、自己犠牲、人のためという傾向があるけれども、自分の中の幸せコップの水がいつも不足していたら、人に分け与える事は難しい(トルストイの七つの星や星の銀貨の境地まではいきつけないけれど)けれど、幸せコップの水が満たされこぼれるほどだったら、穏やかに分け与える事ができます。よって、子供を相手にする保育者も大人も夫婦も、幸せに満たされた気持ちを持ち、そんな大人達の中で過ごす環境が、こどもにとって最高の教育環境であると考えます。そんな連休をお過ごし下さい。



## 【連休】

一斉大型民族大移動連休が始まります。うれしいのは、観光地と石油会社と運輸会社(鉄道飛行機自動車などの輸送機関)と大手企業の旅行会社などでしょうか。それと子供!? 学校や保育園幼稚園が毎日楽しすぎたら、休みたくない、学校へ行きたいと訴え、休みが憂鬱になる?(密かに大地は、これを狙って頑張っています!!)

冒頭から皮肉めいたことを言っていますが、大型連休。混雑、人混み ラッシュ 休日特別価格 はっきり言って皆一斉移動で行くところは同じ観光地 インターネットのお陰で、皆同じ情報を得るので、どこでも同じ所を目指し、自分達だけの秘密の場所も確保できないですね。

桜満開の花見も同じですね。どこも花見ではなく人見。想像ですが、本来花見は、残雪の山々や静かな川の畔や池の淵に咲く桜を、趣のある静けさや小鳥の声を聞きながら御茶をたてたり、楽器を奏でたりして、季節の流れを感じたりしたのではないのでしょうか。今年の自分のテーマである「自然を演出材料に使わない」そんな目標の下、先日千曲川沿いの誰もいない桜の木の下で静かに楽しんできました。残雪の山並み、千曲川の流れ、桜の木に訪れる野鳥、桜の花を眺めながらの昼寝、御茶を飲みながらののの花祭りのミーティングなど。創造性が増しました。現在では、大地の桜環境が絶品です!!

個人的には、10日間の連休を国民全員一緒にとるのではなく、好きな季節に10日間取れるようにした方が、よほど喜ばれると思います。じっくりと静かに思いきり楽しめる。待ち時間、ラッシュで非生産的な時間や時間を無駄にすることなく、時間を濃く有効に使えます。学校会社企業がこの単純なことにぜひ気づいて欲しいと思います。もちろん、大地は、論理的思考よりも体験的思考を最優先するので、家族旅行では、どんどん休んで下さい。一斉民族大移動の疲労感にそろそろ気づいてもよいと思います。

さて、青ちゃんの勝手気ままに綴る「童」の4月号は、毎年青ちゃんの子供たちの近況を書いていますので、今回もまた同じです。

野沢温泉で何とも表現しようもないほど深い丁寧な生活を楽しんでいる長男夫婦。子供も一歳半年を超え、相変わらず半袖ふんどし生活をしている。長男は、妹弟達とバックカントリーを楽しみ、相変わらず兄弟姉妹仲の良いリーダーシップをとっている。妻の由佳ちゃんは、丁寧な生活の中でやってくれる!! 先日、夫の居ない時に、畑仕事で母子で泥だらけになり、お風呂(温泉)に行きたくなり、車がないので躊躇していた中で、エイ!と思い立ち、あの過疎地と呼ばれる場所の国道に立ち、親指を立てたらしい。ふんどし半袖の幼児と共に立つ母子に5分も経たずに、黒塗りのクラウンの中年夫婦が止まり、しっかりと野沢温泉の共同浴場までたどり着けたらしい。恐るべし!!!

二番目の長女は、末っ子の三男と台湾旅行を満喫してきた。帰国の飛行機が離陸して直後に、あの凄い台湾地震が起こったらしい。帰国早々、「ユウナ(末っ子の名前)はめっちゃ可愛い」と連発していた。アフロヘアとひげ面のどこが可愛いのか想像しがたいが、やはり末っ子は独特で可愛いと思う。そして、翌日には、長男とバックカントリーに出かけ、その夜には長年の相談相手である大地の保護者の下へ出かけ、翌日には、1日かけて山の準備をして、夜、妻と温泉で遅くまで話し込んで、翌朝、スキー道具、ウクレレと大きなザックを背負い、北アルプス裏銀座の山小屋という仕事場へ堂々と出かけていった。こちらも恐るべし!!!

次男のガ一君は言うまでもないです。爽やかに見ての通り張り切っています。大地では言うまでもないですが、家庭でも、まもなく3ヶ月になる子供と可愛い妻(末っ子のユウナと同年齢)と愛犬との暮らしを楽しんでいる。人見知りの次男の妻も、大地の暮らしや青ちゃん夫婦(特にノンタン母さん)に親しみを感じ、一緒にテニスをしたり山菜を採ったり気軽にふと遊びに来たり、歓迎会に参加したり、あの長女に可愛がられたりして、青山家の兄弟姉妹に溶け込んできた。いずれ恐るべしになる日も近い!

兄弟のアイドルである末っ子。3年間の鍼灸の国家試験。学校の成績は良いのだが(国家試験とは別領域)、国家試験対策はしていなくて、学校から直々に電話が12月初旬にかかってきて、(このままでは卒業もしくは国家試験は無理)と太鼓判を押された。この時から、海外へ行くことを希望していたので、国家試験通らなかつたら、その夢は無理と気合いを入れたところ、それを原動力に3月25日無事合格!! 「おめでとう」と祝福すると、間髪入れずに「ところで、留学の件だけ」と気持ちは合格の喜びにあらず、すでに気持ちは海外。アフロヘアと髭面で、さっさと住み込みバイトに3ヶ月出かけ、8月下旬から3年ほどフィリピンとオーストラリアで暮らす人生設計をスタート。

最近思う青山家共通ミッション ①ワクワクする目標を「自分で」設定する。②根拠のない自信を持つ。③具体的な計画を立てる。④目標をまわりに言いふらす。⑤失敗をプラスの力に変える⑥相談相手をもつ⑦世間体なし